

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA

いわき経済同友会

IWAKI

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

1月号/2014年1月1日発行

■ 12月11日
17:50~

12月通常例会 第2回臨時総会

■会場
いわき建設会館5階

講演 テーマ「洋上風力発電に関する産業集積について」

みずほコーポレートアドバイザー(株) 営業本部長 高橋 良友氏



講師
高橋良友氏

【要旨】

■はじめに、私の経歴を紹介させていただきます。

1992年慶應義塾大学経済学部卒業後、株式会社富士銀行（現みずほ銀行）入行。日本国内に加え、インド、ニューヨーク、シンガポールに駐在し、長年、火力発電事業に対するプロジェクトファイナンスのアレンジメント業務に従事してまいりました。

現在、福島沖浮体式洋上風力発電においてコンソーシアムメンバーである皆様のアドバイザーサービスを提供させていただきました。

10月にいわき同友会さんで実施されましたブレイマーハーフェン視察旅行にも同行させていただきました。

また、経済産業省エネルギー庁が主宰する「洋上風力の調達価格に係る研究会」の研究委員メンバーとして、着床式洋上風力発電の固定買取価格決定のための研究会に参画しております。



左から寺主君男代表幹事、小野英典さん(12月18日生)

ドイツ ブレーマーハーフェンにおける 産業集積の事例と風力発電の産業構造について

洋上風力発電産業の一大集積基地たるブレーマーハーフェンは、ドイツブレーメンのヴェーザー川が北海に注ぐところに位置する、人口11万4千人のドイツ北海沿岸部で最大の都市です。

ブレーマーハーフェンはもともと海運業の街でしたが、第二次世界大戦以降の冷戦時においては在独米軍の物流拠点として位置づけられ、多くの米兵とその家族がこの街に居住し、経済的発展を果たしました。



しかしながら、1989年にベルリンの壁が崩壊して冷戦が終わりを迎えると、米軍基地はその役割を終え閉鎖、同時にブレーマーハーフェンの産業の基盤であった造船業もアジアや東欧の造船所との競争の激化により造船所は閉鎖。雇用が失われ、深刻な不況に見舞われました。

深刻な不況を脱し、新たな雇用を創出すべく、ブレーマーハーフェンは港湾都市という強みを生かし、洋上風力発電の産業集積基地となることを目指し、2000年に官民挙げた一大プロジェクトをスタートさせました。

ブレーマーハーフェンの北側エリアには、ドイツ第二位の電力会社のREWAGやドイツ海上輸送大手のBLG Logistics等のbase port/港湾施設が立ち並んでいます。

ブレーマーハーフェンの南側エリアには大手タービンメーカーのAREVA Wind（フランスに本社を置く世界最大の原子力コングロマリットAREVAの子会社）やRepower Systems、Repower Systemsの子会社でブレードを製造しているPowerBladesなどの組立工場やテストセンターが立ち並んでいます。また、公共港湾施設のLabradorhafenもこのエリアにあります。

ブレーマーハーフェンの産業集積のために設立されたのが「BIS Economic Development Company Ltd (BIS)」です。

BISはブレーマーハーフェン市75%、ブレーメン州25%の出資により設立された、日本で云うところの有限会社です。

役員及び社員もブレーマーハーフェン市及びブレーメン州から派遣されており。

BISはブレーマーハーフェンで事業を志す事業者に“ワンストップサービス”を提供しています。

- ・投資に関する情報やアドバイスの提供
- ・プロジェクトの支援
- ・工業用地・事業用地等の整備・提供
- ・テクノロジーセンターでの技術的な支援
- ・関連企業、調査機関、政府機関等のコンタクトポイントの紹介

■ブレーマーハーフェン産業発展のロードマップ

1. Regional Network

WAB(Windenergie-Agenyur Bremerhaven/Bremen e.V.) が、風力発電産業に係る企業のネットワークや勉強会の開催、事業化支援を目的として、BIS主導のもと2002年に設立されました。現在約300社がWABの会員に名を連ねております。

2. Location of Prototyps

様々なタイプの風力発電機を用いて実証実験が実施されました。

3. Development/ Construction of Infrastructure

ネットワークと並行して、州よる資金援助を得て、2002年頃から風力発電産業誘致に必要な道路や港湾等のインフラ整備がスタートしました。

4. Orientation of Support Programme

企業誘致のためのサポートプログラムの導入

5. Research and Development Infrastructure

研究開発のため、研究所の設置やブレーマーハーフェン大学での風力関連講座の開設といったインフラ整備が行われました。以来、風車の基礎、ブレード、風光、安全技術等の研究が進められています。

6. Political Support

州政府によるインフラ整備や用地整備に係る資金援助、政府による実証実験の実施や風力発電に係るFIT(固定価格買取制度)制定等、公的なサポートが継続的に行われました。

7. Marketing

BISにより、積極的な企業誘致活動が行われてきました。

洋上風力企業において3,000人、湾岸全体では17,000人の雇用をブレーメン州において創出

■ BISによる支援内容

1. Investment Support

企業がブレーマーハーフェンに投資する場合、最大適格コストの30%について補助金が支給されます。

2. Innovation Support

ブレーマーハーフェンで行われるR&D費用について、最大75%まで補助金が支給されます。

3. Start-up Support

ブレーメン州が、アドバイザーの紹介など事業開始に関する支援を提供しています。

4. Sales Support

海外への輸出のコンサルティングや展示会への参加支援のサービスが提供されています。

5. Financing Support

地元金融機関による資金援助やIPO等の支援プログラムが提供されています。

6. Industrial Support

工場用地やオフィスビル、Start-up Centerが整備されており、参入事業者に対して安価な賃貸体系が提供されています。今後も更なる事業用地の整備が計画されています。

■今後の事業化のポテンシャルティー

2040年までの間に、北海エリアにおいて最大で年間470基の新規需要計画が見込まれています。

■風力発電システム

風力発電システムは風のエネルギーを機械的動力に変換する「ロータ系」、ロータから発電機へ動力を伝える「伝達系」、発電機などの「電気系」、風車の運転・制御などの「運転・制御系」および「支持・構造系」から構成されています。（使用されていると思われる

部品のリスト等具体的な資料提示。）

講演の最後に、会員のみなさんから質問をいただきました。

- ・BISの資金調達は？
 - ・民間からの資金は入っていないのか？
 - ・実証実験の後、どんな企業が名乗り上げるのか？
 - ・日本にもって来たら、どんな問題があるのか？
- などの活発な質問が出ました。

12月グループ会報告

経済特区研究グループ会

- 日 時 12月21日(土曜日)18:30～
- 場 所 イタリアンコート

年末恒例の情報交換会

忘年会を開催しました。安島担当副代表より日頃の活動に対する感謝の挨拶後、乾杯で開始しました。その後、参加者間の情報交換を行いました。

普段の勉強会では時間がなくて、できないいろいろな情報交換ができました。

参加企業の活動や現状地域情報等多くの情報交換ができました。

会の最後には、恒例の3分間スピーチで参加メンバーの近況報告を行いました。

個人を知ることによって会員同士の親近感が生まれ、本音で話せるようになったかと思えます。



まちづくり観光グループ会

- 日 時 12月9日(月曜日)18:30～
- 場 所 レストランさすいち

震災後リニューアルオープンした、当グループ会員の小野さんが営むレストランさすいちにて忘年グループ会を開催。

リニューアルしたお店は、たいへん綺麗で、料理の方も大満足でした。小野さんは忙しく、仕事をしながらの参加でしたが、頑張っていてやる姿に勇

気をいただきました。

会員も寺主代表はじめ、多数参加いただきまして、大いに盛り上がりました。

スポーツ交流グループ会

- 日 時 12月17日(火曜日) 18:20～
- 場 所 だいこん家

今年一年間を振り返りながら忘年会を開催した。

山野辺次年度第3グループ長の抱負などもうかがいながら、2次会も含め多くのメンバーとの交流ができた。

資質向上研究グループ会

- 日 時 12月18日(水曜日)18:30～
- 場 所 磯 勘

冬場の移動例会の打ち合わせ及び忘年会

いわきブランド研究会

- 日 時 12月18日(水曜日)10:00～
- 場 所 ラトブ6F産業創造館

第8回カジキグルメサミット2013実行委員会の開催。

*実行委員会内容

- 1) カジキグルメ実行委員長の挨拶
 - 2) カジキグルメサミット2013決算報告及び質疑応答
 - 3) カジキグルメサミット2013の総括と今後の抱負
 - 4) 出席者全員による、今後の活動についての助言
- 以上の件について審議をいたしました。また、出席者の助言として、来年度のカジキ料理コンテストの内容について、コンテスト出場者の範囲を飲食店関係者だけに限定せず、パン業界、ケーキ業界等にも声をかけ広く募集してはどうか、などの意見もあり検討する事にしました。

●研修委員会

12月13日(金)

『経営管理者研修会』

北関東空調工業㈱敷地内

安藤家御家流茶道「式正の茶の湯」

旧磐城平藩主安藤家に伝わる御家流茶道を学んだ副代表幹事 武藤真一様社中のご協力を頂き「式正茶の湯」の歴史を紹介しながらお手前を披露し

て頂きました。

会員は茶器や茶道具の拝見の仕方やお茶のいただき方、菓子の食べ方などを学び、「留流」として武家にとめおきされてきた伝統や作法に理解を深めた。

また、「超高速！参勤交代」の著者 土橋章宏氏にも同席頂き、作品のお話を伺い、改めて湯長谷藩やいわきの文化、歴史に触れ有意義なお茶会となりました。

新入会員紹介



ばん けん たろう
伴 健太郎

三井住友海上火災保険株式会社
福島支店いわき支社長
業 種／損害保険業
会社所在地 〒970-8026
いわき市平字大町7-1
平セントラルビル3F

FMいわき「いわき経済同友会だより」

1月予定放送

- ・1月6日 カジノ協議会 小野 賢司様
- ・1月13日 いわきブランド研究会 武藤 真一様
- ・1月20日 資質向上研究グループ会 吉田 嘉徳様
- ・1月27日 政策提言室 小野 潤三様

◇毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。
<http://www.simulradio.jp/>

1月のグループ会 ご 案 内

- 経済特区研究グループ 1月28日(火) 18:30～ 場所 ささや 「第5・6回いわき市行政経営市民会議報告」
講師 長谷川祐一副代表幹事
- まちづくり観光グループ 未定
- スポーツ交流グループ 1月23日(木) 9:08～ 場所 クレストヒルズゴルフ倶楽部 東コース
新春ゴルフコンペ
- 資質向上グループ 1月25日(土) 18:30～ 場所 ラトブ 安曇野 次年度移動例会の打ち合わせ
- いわきブランド研究会 未定

1月例会

平成26年1月18日(土)

いわき建設会館 5階会議室

例 会 18:00～
講演会 18:30～
懇親会 19:00～

講 師 日本銀行神戸支店 支店長 鉢村 健氏

テーマ 「(仮)震災後の被災地経済の動向について」

懇親会 天政(会費:2,000円)

公開講演会・2月例会

2月12日(水) 会場 ハワイアンズ ラピータ 会費 5,000円

テーマ (仮)「被災3年目 復興を目指してどう進むいわき市政」

いわき市長 清水 敏男氏

例 会 19:00～
講演会 19:30～
懇親会 21:00～

送迎バスを準備致しました。ご利用下さい。

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

- 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail: doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 編集 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
情報委員会 委員長 坂本和久
副委員長／小野英典・鈴木清友・田村慎太郎
馬場 学・山崎勇一郎